

(人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針に則る情報公開)

このたび以下の研究を実施いたします。本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【研究計画名】 北茨城の被災地住民を対象とする精神医学的コホート研究(第三期)

【研究代表者】 国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 行動医学研究部 堀 弘明

【研究責任者】 国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 行動医学研究部 堀 弘明

【本研究の目的及び意義】

2011年3月に発生した東日本大震災の後、2012年より2015年3月31日にかけて筑波大学医学部附属病院精神科と国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第三部が共同で、北茨城市の被災地住民の方々に対するメンタルケアおよび調査・検体解析研究を「北茨城の被災地住民を対象とする精神医学的コホート研究(北茨城元気づくりプロジェクト)」として実施いたしました。それに続き、2015年4月1日から2017年3月31日までにかけて、第二期研究として、第一期研究にご参加いただいたおよそ1020名の方々の資料・試料を用いた検体解析・データ解析を実施いたしました。しかしながら、うつ病や心的外傷後ストレス障害、不安障害の発症リスクとなる遺伝要因や環境要因についてはいまだに不明な部分が多く、今後もさらなる研究が必要です。そこで、以前の研究でいただき、現在も国立精神・神経医療研究センターおよび筑波大学にて保管されている貴重な検体・データを用いて、さらに詳細な分析を行いたいと考えております。

なお、本研究は筑波大学およびメモリークリニックお茶の水と共同で行われます。これらの機関はいずれも、これまで当該研究プロジェクトに中心的役割を果たしてきた研究者の現所属先で、今後も研究の立案やデータの分析などを共同で実施することといたしました。

現在までのところ、対応表(お名前とIDの連結表)は筑波大学のみで保管されていますが、今回当センターを主機関として第三期研究を実施するにあたり、必要に応じて同意の撤回等の対応をとれるようにするため、筑波大で保管されている対応表のコピーを当センターに移動し、保管することといたします。

【本研究の実施方法及び参加いただく期間】

対象となる方

2012年より2015年3月31日までの間に北茨城市民病院で「北茨城の被災地住民を対象とする精神医学的コホート研究」に参加された方のうち、2015年4月1日～2017年3月31日に実施された「北茨城の被災地住民を対象とする精神医学的コホート研究(第二期)」にも参加していただいた方

利用する試料・情報等

試料：血液(血漿、DNA、RNAを含む)、

情報等：面接・質問紙、脳MRI等のデータ・情報

研究期間

研究実施許可受領後から2027年6月30日まで

【共同研究機関】

筑波大学医学部附属病院 研究責任者 太田 深秀

メモリークリニックお茶の水 研究責任者 朝田 隆

○問い合わせ窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

所属 精神保健研究所 行動医学研究部 氏名 堀 弘明

電話番号 042-341-2711

e-mail: hori※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)

○苦情窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局

e-mail: ml_rinrijimu※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)